

一代藩主 伊達斉義

仙台市博物館 学芸員 佐々木 徹



四歳の姫の婿とつと

伊達斉義は、寛政一〇年（一七九八）、仙台藩の一門であり、支藩・一関藩の藩主であった田村村資の子として生まれ、もとは顕嘉と名乗っていました。文政二年（一八一九）五月、二一歳の顕嘉は、三月頃から病に冒されていた一〇代藩主斉宗の跡継ぎとなります。その前提には、斉宗の娘で四歳の芝姫（藜子）の婿となることが決められていました。

当時、斉宗の跡継ぎ候補としては、五代藩主吉村の曾孫に当たる顕嘉のほかに、同じく吉村の曾孫であった登米伊達氏の幸五郎（二歳）、六代藩主宗村の玄孫である涌谷伊達氏の源次郎（一二歳）がいました。そうした中で、仙台藩主家との血筋の近さや年齢から、顕嘉が適任とされたようです。

顕嘉が跡継ぎとなった数日後、二四歳の若さで斉宗が逝去してしまいます。それを受けて顕嘉は、翌六月に伊達藤次郎宗義へと改名し、七月には芝姫の婚養子となって斉宗の遺領を相続しました。さらに八月には、江戸幕府一代将軍・徳川家斉の一字を拝領して斉義と名乗ることになりました。こうして一代藩主斉義が誕生したのです。斉義と芝姫の婚儀は、芝姫が成長し、一一歳となった文政九年に行われています。

斉義期の藩政

斉義の治世は、文政一〇年までのわずか八年でした。この間に行われた藩政として目立つのは農政です。一つは「文政七年転法」と呼ばれる政策です。この中で打ち出された方針は、村々から徴発する普請（土木工事）のための人足について上限を定めること、本来臨時の徴発であった遺捨人足が恒常化し人数も多くなっていたためこれを廃止し、銭納とすることなどでした。これらによって郡村の過度な人足負担を軽減するのが目的でした。

またこれに先立ち、検地帳の整備と村絵図の仕立て直しを行っています。古くなり損傷・紛失した検地帳を再交付し、藩領南部を中心とした村々へ絵図の作成・提出を命じたのです。特に村絵図は、文政四年から七年にかけての絵図が多く残されており、仙台市域の村絵図でも一五点近くが確認されています。郡村の境や方角を磁石・測量技術を用いて精細に記し、山林・田畑や沼・川・堤・道、居久根に囲まれた家並みを色分けして描くなど、江戸時代の村の様子を知る貴重な資料となっています。

農政以外にも、藩校養賢堂に薬園を設けたり、藩の医学部に蘭科（オランダ医学科）を設置するなどの文教政策が進められました。

斉義の死

藩の財政は、引き続き厳しい状況が続いていました。幕府から関東諸川の改修工事を課され、度重なる火災に見舞われた仙台城下の復興にも追われました。そうした中で倭約令を発し、藩士の窮乏を大坂商人からの借財で救う方針も打ち出しています。文政一〇年一〇月、病に伏した斉義に、跡継ぎを決める話を持ち上がります。子の穰三郎（のちの一三代藩主慶邦）がまだ三歳であったため、登米伊達氏の幸五郎を跡継ぎとし、穰三郎をその跡目にしたと幕府へ願ひ出たのです。その後、幸五郎は江戸へと登り、十一月二三日に幕府若年寄の堀田正敦、二五日には上屋敷の寝所で斉義と面会しました。斉義が死を迎えたのはその二日後。享年三〇歳でした。

※前号で「一代藩主宗義」と記載している部分がありますが、これは本稿で解説の通り、改名する前の名前です。斉義を指すものです。

※本稿では仙台市博物館の学術研究機関たる立場から歴史上の人物名に敬称を付していません。



名取郡北方四郎丸村絵図（文政絵図）仙台市博物館蔵

特別展 戊辰戦争150年

10月26日(金)～12月9日(日)

今年は戊辰戦争から150年目にあたります。この展覧会では、開国が引き起こした幕末の動乱から、戊辰戦争とその後の歴史を、東北地方・新潟に残る古文書や絵図、旗や武器などを通して紹介します。

【観覧料】一般・大学生1,000円、高校生500円、小・中学生400円
 ※10名以上の団体は各100円引き。※その他各種割引あり。詳しくはお問合せください。
 【開館時間】9:00～16:45(入館は16:15まで) 【会期中の休館日】毎週月曜日

詳しくはホームページをご覧ください [仙台市博物館](#)

教科書では触れられない、幕末・維新期の「仙台藩の戦い」に迫る!



戊辰戦争絵巻(部分) 致道博物館蔵



奥羽越列藩同盟旗 宮坂考古館蔵



スペンサー銃 宮坂考古館蔵

仙台展限定の資料も多数!

仙台藩ゆかりの資料を重点的に展示。新潟・福島で開催した「戊辰戦争150年展」を観た方にもお楽しみいただけます。

仙台市博物館
SENDAI CITY MUSEUM

TEL:022-225-3074 ▶10月の休館日:毎週月曜日(8日は開館)

〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) ▶Twitter @sendai_shihaku